

PC建協新春賀詞交歓会を開催

令和2年1月16日に東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で「PC建協新春賀詞交歓会」を会員各社など参加者645人の盛況の中で開催しました。

今回は石井啓一衆議院議員、佐藤信秋参議院議員、足立敏之参議院議員、



▲ 大変な盛況だった新春賀詞交歓会



▲ 新年の抱負を述べる藤井PC建協会長

福井照衆議院議員、井林辰憲衆議院議員の来賓出席があり、山田邦博国土交通省技監からご挨拶を頂戴しました。

藤井敏道PC建協会長は、「PC建協設立から64年が過ぎ、受注環境も比較的安定してまいりました。『我が国の国土づくりにPC技術をもって貢献し、PC事業の未来を切り拓く』という使命を持ち、ますます元気に活動を続けていく所存でございます」と明るく和やかな一年を祈念しました。

全国から開通情報

(北海道支部)
旭川紋別自動車道丸瀬布遠軽道路
(遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC) 開通

令和元年12月21日に北海道の旭川紋別自動車道丸瀬布遠軽道路遠軽瀬戸瀬IC～遠軽IC(延長6.8km)が開通しました。

紋別郡遠軽町の町立武道館での記念式典には地元関係者など約160人が出席し、くす玉割りやテープカットなどを催しました。また遠軽ICでの開通式では乗用車やトレーラーなど60台が通り初めを行って今回の開通を祝いました。



▲ 開通式での通り初め (出典：国土交通省北海道開発局網走開発建設部 Twitter https://twitter.com/mlit_hkd_abを加工して作成)

その他

・道央圏連絡道路(国道337号)泉郷道路(中央ランプ～長沼ランプ)
・根室道路(温根沼IC～根室IC)
・深川・留萌自動車道幌糠留萌道路(留萌大和田IC～留萌IC)

(東北支部)
三陸沿岸道路(久慈北IC～侍浜IC) 開通

令和2年3月1日に三陸沿岸道路久慈北IC～侍浜IC(延長7.4km)が開通しました。

本道路は震災復興事業の一環として整備されました。平行する国道45



▲ 三陸沿岸道路 夏井高架橋



▲新東名高速道路 秋山高架橋

号は急カーブや急勾配が多い区間で、今回の開通で物流の効率化による地域産業の活性化や救急医療の迅速な活動が期待されます。

その他

・都南川目道路（田の沢IC↗手代森IC）

・東北中央自動車道（相馬IC↗相馬山上IC）

（関東支部）

新東名高速道路（伊勢原JCT↗伊勢原大山IC） 開通

令和2年3月7日に新東名高速

道路伊勢原JCT↗伊勢原大山IC（延長約2km）が開通しました。今回の開通により東京都心部から大山までの所要時間が22分短縮されました。

（北陸支部）

上信越自動車道4車線化 完成

令和元年12月5日に上信越自動車道信濃町IC↗上越JCTの暫定2車線区間（延長24・7km）の4車線化が完成しました。これにより全線（藤岡JCT↗上越JCT、総延長約203km）が4車線化しました。

令和2年1月19日に新潟県の妙高文化ホールで催された完成式典には、地元関係者など120人が出席し、くす玉割りやテープカットなどで今回の開通を祝いました。

（中部支部）

国道1号笹原山中バイパス 開通

令和2年2月22日に静岡県三島市の国道1号笹原山中バイパス笹原地区（延長2・7km）が開通し、笹原山中バイパス全線（延長4・3km）が開通しました。箱根峠と三島との間の山岳区間を通る現道は、幅員狭少、急カーブ、急勾配のため他区間の約4・3倍も事故が多発していました。今回の開通により安全な通行が期待さ



▲笹原山中バイパス 開通式

れます。

三島市谷田で催された開通式には、地元関係者などがテープカットで開通を祝いました。

その他

・東海環状自動車道（関広見IC↗山県IC）

（関西支部）

国道163号木津東バイパス（木津天神山↗木津馬場南）、都市計画道路東中央線（木津↗山城町） 開通

令和2年3月15日に京都府木津川市の国道163号木津東バイパス・

木津天神山↗木津馬場南（延長0・6km）と都市計画道路の東中央線・木津↗山城町（延長1・4km）が開通しました。

今回の開通で国道24号と163号の慢性的な渋滞の緩和が期待されます。

（中国支部）

国道2号倉敷立体4車線化 完成

令和2年3月14日に岡山県倉敷市の国道2号倉敷立体・片島町↗船穂町（延長2・7km）の4車線化が完成し、倉敷立体の全線（新田↗船穂町、総延長7・7km）が4車線化しました。今回の4車線化により玉島八島から大西交差点の通過時間が最大3分の1に短縮することが期待されます。

その他

・境港外港竹内南地区貨客船ターミナル

（四国支部）

国道55号阿南道路4車線化 完成

令和2年3月14日に徳島県阿南市の阿南道路・那賀川町↗西路見町（延長2・1km）の4車線化が完成し、阿南道路の全線（小松島市大林町↗阿南市津乃峰町、総延長18・4km）が4



▲ 4車線化した阿南道路

令和2年度の本部主催の 意見交換会テーマ等決まる

PC建協では、令和2年度の各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局との意見交換会について、基本となる提案テーマを次のとおり決定しました。意見交換会の開催は、5月の国土交通省道路局を皮切りに、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局と7月から10月にかけて開催

予定です。

①年度工事量の安定的な確保
②働き方改革の推進「総労働時間削減への対応」

・発注者指定型での発注
・合理化に向けてのさらなる取り組み

③生産性向上の推進

・プレキャスト化の推進

・ICT活用の推進

④インフラ長寿命化への対応

・PC橋補修工事におけるR-I方式（設計者が施工段階でも関与）、R-2方式（施工者が設計段階から関与）の発注

・地方自治体支援
・簡易ECI（Early Contractor Involvement）方式を採用した直轄橋梁の一括発注

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

（関東支部）

令和2年1月10日に中央大学理工学部都市環境学科の2年生と3年生計166人に講義を行いました。講義ではまずPC業界とPC建協について



▲ 中央大学での講義の様子

て紹介し、PCの概要、構造物の歴史・性能・適用事例、PC橋の製作方法と架設工法を説明しました。最後にPC鋼材の緊張の実演を行いました。

（北陸支部）

令和元年12月13日に金沢大学理工



▲ 金沢大学での資材サンプルの紹介

学域地球社会基盤学類の2年生82人に講義を行いました。講義では石川県内の身近なPC構造物を示し、PC橋の概要と施工を説明しました。また緊張作業の実演と資材サンプル紹介を行いました。

（関西支部）

令和元年12月20日に京都大学工学部地球工学科の3年生20人に対して「PC特別講義」と題し、PC建協とPC業界での仕事の概要、PC技術、PC設計演習などの説明と緊張作業の実演を行いました。



▲ 京都大学での講義の様子

そのほか令和元年12月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおり。

開催日	支部名	学校名	開催日	支部名	学校名
12月3日	東北	東北工業大学工学部	12月23日	東北	岩手大学理工学部
12月4日	東北	秋田大学理工学部	12月23日	北陸	福井大学工学部
12月6日	中国	呉工業高等専門学校	12月24日	北海道	北海学園大学工学部
12月10日	東北	八戸工業大学工学部	1月14日	東北	東北大学工学部
12月10日	関東	国士舘大学理工学部	1月14日・21日	関西	大阪産業大学工学部
12月11日・18日	関東	宇都宮大学地域デザイン科学部	1月16日	関東	早稲田大学創造理工学部
12月11日	北海道	函館工業高等専門学校	1月20日	関西	大阪工業大学工学部
12月13日	関東	木更津工業高等専門学校	1月24日	関東	長野工業高等専門学校
12月17日	北陸	石川工業高等専門学校	1月27日	関東	日本大学理工学部
12月19日・23日	関東	東海大学工学部	1月31日	関東	茨城大学工学部
12月20日	北陸	長岡工業高等専門学校			

PC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(北海道支部)

令和元年12月4日に北海道開発局(札幌市北区)で行われた「令和元年度橋梁担当者会議(主催:北海道開発局建設部道路建設課)」で参加した47人を対象にPC橋に関する講習会を行いました。講習会ではコンクリートやPCグラウトの品質管理、PCケーブル構造やICTの活用など最新の技術、工事工程作成の留意



▲ 橋梁担当者会議での講義の様子

点などを紹介しました。

(関東支部)

令和元年12月3日に埼玉県県民健康センター(さいたま市浦和区)で行われた「PC橋の積算のポイントと留意点(主催:埼玉県 県土整備部道路街路課)」で自治体職員など44人を対象に講習を行いました。内容はPC橋の建設や保全補修などの工事での積算に関する基礎知識とポイント、PC橋の維持管理の基本などでした。

(九州支部)

令和元年12月16日に沖縄県市町村



▲ PC技術説明会の様子

開催日	支部名	講習会名	主催
12月5日	関西	京都府北部・橋梁維持管理研修(第88回)	京都府中丹東土木事務所
12月5日	四国	工事工程プロセス研修	四国地方整備局
12月6日	関西	プレストレストコンクリート橋梁研修	奈良県県土マネジメント部 技術管理課
1月22日	関西	橋梁(コンクリート橋)維持補修及び橋梁点検研修	大阪府都市整備センター
1月31日	関西	橋梁マネジメント研修	堺市建設局
2月17日	関東	橋梁技術研修会	群馬県

自治会館(沖縄県那覇市)で「令和元年度沖縄県PC技術説明会(主催:PC建協)」を開きました。説明会では県内の発注者とコンサルタントなど約50人に、PC橋の設計改訂概要、架設工法、最近の県内施工事例、高機能PC鋼材や活用例について紹介しました。

そのほか令和元年12月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおり。

現場見学会を開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

(東北支部)

令和2年2月4日と5日の2日間、国際協力機構(JICA)からの要請で北海道センターの研修生(キルギス・タジキスタン6人)を対象に福島県伊達市の東北中央自動車道掛田橋上部工事現場と宮城県の本郷日本コンクリート(株)巨理PC工場の見学会を行いました。



▲掛田橋を現場見学するJICA研修生たち

掛田橋は橋長175・0m、有効幅員12・0m、支間長42・35mのポストテンション方式PC4径間連結コンポ桁橋(架設桁架設工法/川田

建設(株)です。初日は同橋の見学後、架設桁架設工法を解説しました。また翌日は巨理PC工場でセグメント桁とプレテンション桁の製作を見学しました。両日とも研修生と多くの質疑応答を行いました。

(九州支部)

令和2年1月24日と28日に、沖縄県南風原町の北岳高架橋で町立北丘小学校の児童136人を対象に現場見学会を行いました。

本橋は橋長127・0m、最大幅員24・8mのポストテンション方式PC2径間連続箱桁橋(固定支保工架設/㈱日本ピーエス)です。

22日に小学校の教室で事前学習し、24日と28日の見学会に臨みました。



▲現場見学中の児童たちをドローンで撮影

そのほか令和元年12月以降に実施された現場見学会は次のとおり。

開催日	支部名	場所・現場	参加者
12月6日	関西	滋賀県・県道新常安2号橋	京都府建設交通部6人
12月12日	東北	福島県・常磐自動車道常磐夏井川橋	福島工業高等専門学校40人
1月15日	関東	群馬県・嬬恋村道大前橋	群馬工業高等専門学校37人
1月15日	北陸	石川県・金沢外環状道路浅野川橋梁	金沢工業大学環境土木工学科3人
1月18日	関東	静岡県・新東名高速道路柳島高架橋	東海大学土木工学科46人
2月25日	中部	(株)富士ピー・エス三重工場	三重県、県内市町村職員12人

令和元年度 第18回高校生「橋梁模型」作品発表会

令和2年2月14日に仙台市青葉区のせんだいメディアアテックで「第18回高校生「橋梁模型」作品発表会」が行われました。

今年度は東北6県の16校からの25作品中、12点の入賞作品が展示され、模型審査、来場者投票、高校生によるプレゼンテーション審査の結果、秋

田県立大館桂桜高等学校の「神龍橋」が最優秀賞に選ばれました。PC建協東北支部では初年度から本発表会の実行委員会の一員として共催しています。



▲最優秀賞作品の「神龍橋」
(長さ1320mm×奥行き450mm×高さ570mm、重量6kg)

令和2年度各種講習会日程

(PC工業協会主催)

第10回PC工事技能実習

【開催日・会場】

10月6日(火)～8日(木)

富士教育訓練センター

第4回コンクリート橋架設等 作業主任者技能講習

【開催日・会場】

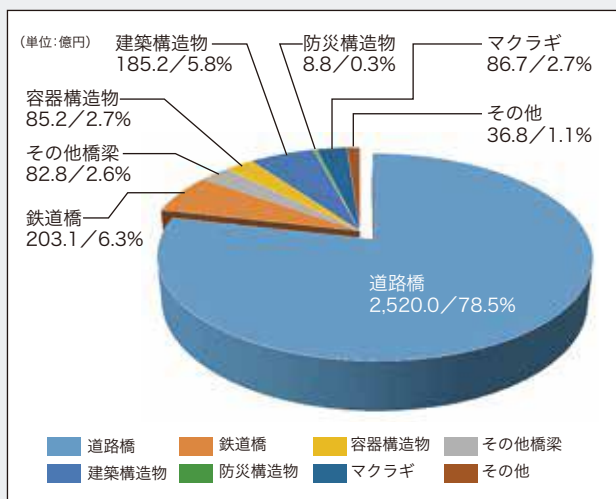
10月8日(木)～9日(金)

富士教育訓練センター

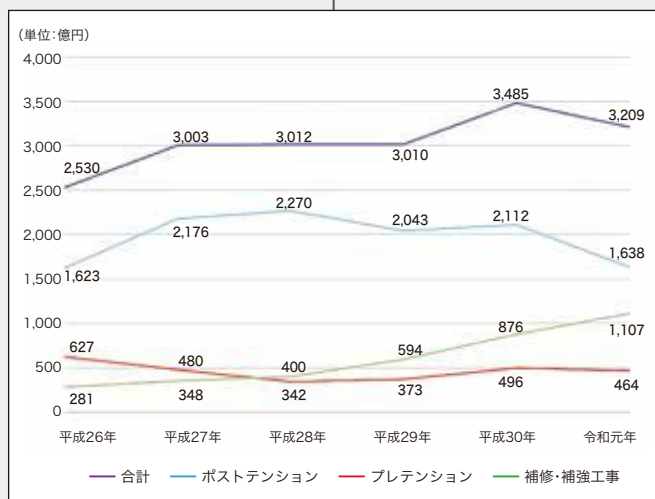
PC統計(受注実績)

令和元年度のPC建協会員の受注高は、新設部門の減少はあるものの補修・補強部門が増加したことにより3,209億円となりました。前年度(3,485億)より8%減少しましたが、5期連続して3,000億円を超えました。

用途別では、道路橋が2,520億円(前年度2,830億円)、鉄道橋が203億円(前年度246億円)となりました。道路橋の内訳は、新設工事が1,521億円(前年度2,003億円)、補修・補強工事が999億円(前年度827億円)となりました。



令和元年度用途別受注実績



年度別受注推移

編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、高松 正伸(副委員長)、吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、大信田 秀治、鈴木 裕二、石井 一生、竹本 伸一、大塚 俊介、松嶋 憲昭

編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、小谷 仁(副幹事長)、荒畑 智志(副幹事長)、渡邊 文美、小出 武、栗川 修、関口 豪賢、大谷 圭介、杉村 卓也、木下 拓三、石樽 修、岡本 修一、直井 秀市、関地 正幸、瀬戸 裕一郎、岩崎 麻美、坂田 貴俊

編集後記

今回のルポは「四国遍路(香川・徳島)」でした。うるう年である今年は、第八十八番から逆順に回る「逆打ち」を行うと三倍のご利益があると言われております。四国遍路といえば、数ヶ月間歩いて回る厳しい修行というイメージでしたが、近年では車やバスを使って回る方や時期を数回に分けて回りきる方も多く、お遍路を少し身近に感じることができました。

また、今回の特別企画では「働く女性が語るPC業界の今日、そしてこれから」と題して座談会を行いました。子育てをしながらPC業界で働く女性とPC建協の藤井会長が、これまで職場で働く中で感じたこと、今後さらに女性が働きやすい環境になるために必要と感じていること、育児や家事等家庭と仕事を両立するために必要と感じること等について意見交換いたしました。

昨今の建設業、PC業界においては人手不足や働き方改革による生産性向上に向け、ますます女性就業者の増加、活躍できる環境整備の促進が求められていると思います。2020年1月には、国土交通省と建設業界は「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画」も策定されました。PC業界で子育てをしながら働く女性社員の方々のご意見は、これからPC業界で働くことを考えている方、悩んでいる方にとって貴重な意見になると思います。また、現場で働く女性の貴重な意見を聴取し、PC業界全体でさらなる魅力ある職場環境作り促進への糧にすることが大切であると考えます。

最後に、本号の編集作業中、新型コロナウイルスの感染拡大という大きな社会問題が発生しました。政府からの「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」がなされるなか、編集委員会・幹事会一同、できる限りの感染対策に努めて編集作業を行って発刊にこぎつけることができました。読者の皆さまにおかれましては、外出制限や移動制限などにより未だ不自由な生活を余儀なくされているとお察ししますが、新型コロナウイルスの感染拡大の防止、そして収束のためにも、がんばって参りましょう。(坂田)